
ご挨拶

2021 年は、本学博物館にとって歴史の一里塚となる年でした。博物館が今年で開館 5 年目迎えたからです。子どもの通過儀礼に七五三がありますが、これは医療技術や環境が整っていなかった明治時代以前には、子どもが無事に成長することは現代のように容易ではなかったことを背景に行われていた、子どもの無事な成長を神に祈念する行事です。新生児誕生直後の初宮参りでその後の成長を氏神に祈願することに始まり、その後、3 歳、5 歳、7 歳にチェックポイントをもうけ、この時まで子どもが無事に過ごせたならば、それまでの加護を氏神に感謝し、更にその後の無事な成長を祈ったのが、七五三詣です。

博物館創設 3 年目までの試行錯誤の期間を経て、紀要の出版や特別展や企画展の開催、展覧会関連企画としての講演会やワークショップの充実がなされてきたのが、3 年目以降 5 年目の今年に至る期間でした。他館への作品貸与の機会も増え、社会的にも広く認知されるようになりました。博物館において NHK『美の壺』の取材が行われたこともありました。

そして 5 年目に当たる本年は、新型コロナウイルスの感染が完全には収束しない中、開館 5 周年記念として、東京家政大学名誉教授である能澤慧子先生のご監修により、特別展「ベル・エポックからモダンへ」(10 月 4 日～11 月 20 日)を開催することができました。他館より多数の作品を借用することもでき、素晴らしい展覧会にすることができました。いまだ新型コロナ感染下にはありましたが、多数の多数の方々にご覧いただくことができ、ご協力いただいた皆様に対しては、この場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。

現代では、5 歳は幼児としては最後の年であり、児童としての新しい道のりに乗り出す直前の年でもあります。博物館も今後さらなる発展を目指していきたいと考えています。大学が博物館を持つ意味は、もとより大学所属の学生の教育が第一ではありますが、公共機関として、また特に文化的機関としての社会的役割もまた非常に大きいと言えます。本学博物館もこうした社会的責任を果たすべく、社会教育と地域貢献を両輪とする社会連携の事業にも積極的に参画していきたいと考えています。

共立女子大学博物館長

長崎 巖

沿革

2015 年 4 月 1 日	博物館プロジェクト設置
2016 年 10 月 1 日	開館
2016 年 10 月 8 日	開館記念展開会式・特別内覧会
2017 年 7 月 31 日	博物館相当施設指定
2018 年 3 月	「共立女子大学博物館年報／紀要」刊行
2021 年 10 月 1, 2 日	開館 5 周年記念展内覧会

2021

共立女子大学博物館年報 / 紀要

Kyoritsu Women's University Museum Annual Report & Bulletin

目 次 contents

年 報

1. 展示関連	4
2. 教育研究・利用支援	
1) 資料貸出	10
2) 特別利用	10
3) 団体利用	11
4) 博物館実習	11
3. 資料管理	
1) 環境調査	12
4. 運営・組織	
1) 博物館規程類	12
2) 組織・委員会	13
3) 施設概要	14
4) 利用案内	14

紀 要

・ 洪沢栄一と妻・千代子所用の服飾資料 ―歴史資料としての服飾― 川井 結花子	17
・ 人物をモチーフに含む西洋更紗の主題の特徴についての一考察 ―共立女子大学博物館所蔵の西洋更紗を手掛かりに― 小池 奏衣	25
・ 共立女子大学博物館蔵「花下遊楽図屏風」について ―菱川師宣（菱川派）工房の一様相― 近藤 壮	37
・ 共立女子大学博物館所蔵「納戸平絹地竹雀模様着物」 古川 咲	47

1. 展示関連

1. 和と洋が会える博物館 共立女子大学コレクション・7

開館期間：2021年4月5日（月）～5月22日（土） 39日間

入館者数：269名（学内 173名・学外 96名）

【概要】

本展は、当館の特色である【和】と【洋】の文化の歴史と美の世界をお楽しみいただけるよう、これまで公開されていない作品を中心に本学の美術資料を順次公開していく展覧会となっています。本展では開催時期にちなみ「春」や「初夏」を感じる作品が出品されました。【和】の世界では「花見遊楽図屏風」を中心に着物や漆工作品をご紹介します。【洋】の世界では、アメリカン・アンティークキルトを中心に19世紀から20世紀の工芸品を展示しました。

【展示風景】



ポスター作製者
家政学部 建築・デザイン学科デザインコース
阪本みのり

展 示 品 目 録

資 料 名	時 代
額面「風景 桜」	昭和 7 年
刺繍色紙「桜」	大正～昭和時代・20 世紀
刺繍色紙「苺」	大正～昭和時代・20 世紀
額面「チューリップ」	大正～昭和時代・20 世紀
花見遊楽図屏風	江戸時代・18 世紀
松竹梅山水蒔絵堤重	江戸時代・18 世紀
黒漆塗唐草蒔絵茶弁当	江戸時代・19 世紀
根来塗湯桶	江戸時代・17 世紀
根来塗桶形酒樽	桃山時代・16 世紀
根来塗湯桶	制作年代不明
桜立木模様色絵鉢	江戸時代・17～18 世紀
紫縮緬地瀧桜模様小袖	江戸時代・18～19 世紀
違鷹羽紋散松橘蒔絵調度	江戸時代・18～19 世紀
櫛・簪	江戸時代後期～明治時代・19 世紀
黒縮緬地関の扉模様着物	大正時代・20 世紀
アメリカン・アンティーク・キルト 砂時計	1877 年頃
アメリカン・アンティーク・キルト チューリップ	1870～1880 年頃
アメリカン・アンティーク・キルト ひまわり	1850 年頃
アメリカン・アンティーク・キルト バスケット	1870 年頃
アメリカン・アンティーク・キルト プリンセス・フェザー	19 世紀
アメリカン・アンティーク・キルト 署名入りの星	1847 年
アメリカン・アンティーク・キルト トリプル・アイリッシュ・チェーンのバリエーション	1890 年頃
アメリカン・アンティーク・キルト ポインセチア	1860 年頃
アメリカン・アンティーク・キルト オハイオの星	1900 年頃
ブレスレット 薔薇	ヨーロッパ・19 世紀
ブレスレット 麦の穂	ヨーロッパ・19 世紀
ブレスレット カメオ	ヨーロッパ・19 世紀
ブローチ 牡鹿	ヨーロッパ・19 世紀
ブローチ 葡萄	ヨーロッパ・19 世紀
ブローチ リース	ヨーロッパ・19 世紀
ブローチ 鹿	ヨーロッパ・19 世紀
ブローチ 薔薇	ヨーロッパ・19 世紀
ピアス 葡萄	ヨーロッパ・19 世紀
デミタスカップ・ソーサーセット ロイヤル・ウースター製	1920 年代

2. 共立女子大学博物館 開館5周年記念 特別展 ベル・エポックからモダンへ

開館期間：2021年10月4日（月）～11月20日（土） 39日間

入館者数：712名（学内346名・学外 366名）

【概要】

本展は、共立女子大学博物館の開館5周年を記念して開催するとともに、開館以来実施してきた西洋服飾作品の調査成果として、当館初となる西洋服飾の企画展示を開催しました。ベル・エポック期の服飾にみられる複雑な構造と優美な装飾を対照させながら、1920年代のモダンで機能的な構造と溢れる装飾性に焦点を当て、100年を経てもなお輝き続けるデザインとスタイルをご紹介します。なお、本展を開催するにあたり、監修者として能澤慧子氏（東京家政大学名誉教授）に全面的なご協力をいただきました。

【関連事業】

・講演会（オンデマンド開催）

「1920年代のファッション モダンと郷愁」

講師：能澤慧子氏（東京家政大学名誉教授）

配信期間：2021年10月4日（月）10:00～11月20日（土）13:00

参加者：247名

【展示風景】



【講演会動画より】



ポスター製作者
家政学部 建築・デザイン学科デザインコース
王子瞳

展示品目録

資 料 名	時 代	作者／所蔵
『Gazette du Bon Ton』より Le frisson nouveau	1914 年	共立女子大学・短期大学図書館所蔵
『Gazette du Bon Ton』より La belle personne	1924 ～ 25 年	共立女子大学・短期大学図書館所蔵
『Gazette du Bon Ton』 p.290.291	1924 ～ 25 年	共立女子大学・短期大学図書館所蔵
『Gazette du Bon Ton』 p.81-84	1924 ～ 25 年	共立女子大学・短期大学図書館所蔵
『Gazette du Bon Ton』より De ceci ?... De ceci ?...De ceci ?... Ou de ceci?...	1921 年	共立女子大学・短期大学図書館所蔵
『Gazette du Bon Ton』より Croquis 16	1921 年	共立女子大学・短期大学図書館所蔵
『Gazette du Bon Ton』 p.410.411	1924 ～ 25 年	共立女子大学・短期大学図書館所蔵
山羊ぶどう文様手鏡	1920 ～ 30 年代	ルネ・ラリック ポーラ文化研究所 所蔵
トリプルコンパクト	1920 ～ 30 年代	ポーラ文化研究所 所蔵
文字入りパウダーコンパクト	1930 年代	ポーラ文化研究所 所蔵
房付き幾何学文様コンパクト	1920 ～ 30 年代	ポーラ文化研究所 所蔵
房付き蝶文様コンパクト	1920 ～ 30 年代	ポーラ文化研究所 所蔵
アール・ヌーヴォー様式 松葉文様飾り櫛・蜻蛉 文様飾り櫛	1900 ～ 05 年頃	ポーラ文化研究所 所蔵
アール・デコ様式 ヘアピン	1920 年代	ポーラ文化研究所 所蔵
羽根飾り付きヘアピン	1930 年代	ポーラ文化研究所 所蔵
ボディス	1890 年代前半	
ボディス	1890 年代前半	
ジャケット	19 世紀末～ 20 世紀初頭	ジャンヌ・パキャン
デイ・ドレス	1895 年～ 1905 年	
デイ・ドレス	1900 年代	東京家政大学博物館 所蔵 (東京家政大学服飾史研究室旧蔵)
オーバー・ガーメント	1900 年代～ 1910 年代	
コート	1910 年代	リバティー商会
ドレス	1910 年代後半	
コート	1920 年代	ドゥイエ
アフタヌーン・ドレス	1920 年代後半	ウォルトカ
『Gazette du Bon Ton』より La visite	1924 ～ 25 年	共立女子大学・短期大学図書館所蔵
『Gazette du Bon Ton』より Allons au jardin	1924 ～ 25 年	共立女子大学・短期大学図書館所蔵
コート	1920 年代	
デルフォス	1920 年代	マリアノ・フォルチュニイ
イヴニング・ドレス	1920 年代	ブーエ姉妹
カクテル・ドレス	1920 年代	
イヴニング・ドレス	1920 年代後半	
ハンドバック	1920 年代	
ハンドバック	1920 年代	
イヴニング・ドレス	1920 年代	
イヴニング・ドレス	1920 年代	
イヴニング・コート	1920 ～ 30 年代	
イヴニング・ドレス	1920 年代	
イヴニング・ドレス	1920 年代	
イヴニング・ドレス	1920 年代後半	
イヴニング・ドレス	1920 年代半ば	
イヴニング・ドレス	1920 年代	ジャン・パトゥーカ
イヴニング・ドレス	1920 年代	
『Gazette du Bon Ton』より Les graces et venus en cheveux courts	1924 ～ 25 年	共立女子大学・短期大学図書館 所蔵
イヴニング・ドレス	1920 年代半ば	ジャンヌ・ランヴァン
イヴニング・ドレス	1920 年代	ポール・ボワレ
デイ・ドレス	1920 年代	

3. 企画展 感嘆詞ではじめる美術入門 かわいい・怖い・ふしぎ！

開館期間：2022年1月11日（火）～2月26日（土） 35日間

入館者数：227名（学内48名・学外179名）

【概要】

「美術」という言葉には、どんな印象を持ちますか。「美しさを表現すること」を目的とする「美術」や、それが体現された「美術品」に対して、遠い存在だと感じることもあるでしょう。しかし、美術品とは「ひと」が「ひと」のために作ったものです。ひとは、日用品であれば使いやすく、美術品であれば美しく、ということを考えながら「ものづくり」します。そのため、制作者や、注文主の「考え」や「気持ち」が、美術品には必ず込められているのです。本展では、作品が持つメッセージに注目し、美術を身近に感じるきっかけのひとつとなる展覧会を目指し開催しました。

【関連事業】

・ギャラリートーク

講師：小池奏衣（当館学芸員）

日時：①1月17日（月）13:00～ ②1月28日（金）13:00～

参加者：①7名 ②7名

※事前予約制 各日定員10名

【展示風景】



ポスター製作者
家政学部 建築・デザイン学科デザインコース
王子瞳

展 示 品 目 録

展 示 名	時 代	作者／所蔵
悪の華（挿絵）	1890 年	オディロン・ルドン
毛髪入りブローチ	19 世紀～ 20 世紀	
ブローチ 蜻蛉	19 世紀	
ベーストブローチ 太陽	19 世～ 20 世紀	
真鍮バックル 龍	19 世紀	
ベーストブローチ 波	20 世紀	
銀ブローチ バッタ	19 世紀	
真鍮バックル カラー	19 世紀	
薩摩焼ボタン	江戸時代・19 世紀	
虹彩花器	1896 ～ 1900 年	ルイス・C・ティファニー
カクテル・ドレス	1950 年頃	クリスチャン・ディオール
イヴニング・ドレス	1960 年代初め	クリストバル・バレンシアガ
アビ・アラ・フランセーズ	1770 年頃	
子ども服	1900 年頃	
バニヤン	18 世紀	
紺呉呂服連地隅切笹紋付陣羽織	江戸時代・19 世紀	
浅葱紗綾地跳馬宝尽模様一つ身	江戸時代・18 世紀	個人蔵
白綸子地松竹梅模様四つ身	江戸時代・18 ～ 19 世紀	
萌黄紋縮緬地子犬椿模様掻取	明治時代・19 世紀	
ベッドフォード公のりすを魅了する共和主義のガラガラ蛇	1795 年	J・ギルレイ
ピクニック・オーケストラ	1802 年	J・ギルレイ
ボーナバルトの奇怪な特徴	1814 年	クルックシャンク
サー・ジョン・フォルスタッフとウィンザーの陽気な女房たち	1828 年	T・ジョーンズ
政治的しだれ（泣き）柳	1791 年	フレデリック・ジョージ・バイロン
西洋更紗 神の休戦	19 世紀初め	
西洋更紗 パニユルジュの一場面か	1785 ～ 1790 年	
西洋更紗 セントヘレナ島のナポレオン	19 世紀中頃	
西洋更紗 フランドルの祭り	1797 年	
西洋更紗 ルイ 16 世シェリプール港を訪問	1787 年	
西洋更紗 農村風景	1810 年	
西洋更紗 小さな酒飲み	1784 年	オーベルカンフ工場
紺麻地雪持笹紋付六尺看板	江戸時代・19 世紀	
黄麻地海老譲葉裏白模様祝着	江戸時代・18 ～ 19 世紀	
白麻地鯛注連縄模様祝着	江戸時代・18 ～ 19 世紀	
薄茶麻地法螺貝模様祝着	江戸時代・18 ～ 19 世紀	
キュリックス	紀元前 530 ～ 520 年	
獣型注口土器	紀元前 2100 ～ 2000 年頃	
亀ヶ岡式土偶	縄文時代	
眠り姫	1892 年	バーン・ジョーンズ
How La Beale Isoud Nursed Sir Tristram	1893 年	ピアズリー
How Four Queens Found Launcelot Sleeping	1893 年	ピアズリー
綴織人物円模様コプト裂	7 ～ 8 世紀	
パイル織人物頭部模様コプト裂	6 世紀	
縫取織人物文コプト裂	6 ～ 7 世紀	

2. 教育研究・利用支援

1) 資料貸出

資料	申請者	貸出期間	備考（展示名）
白繻子地梅模様振袖他 計3点	東京家政大学博物館	4/28～6/18	「ふしめの儀式」
紺木綿地松葉模様浴衣他 計7点	泉屋博古館	5/25～7/28	「ゆかた浴衣 YUKATA」
衣桁 3脚	永青文庫	7/5～9/28	「美しき備え―大名細川家の武具・戦着―」
着物・漆工品・衣桁 計27件	朝日新聞社文化事業本部	10/7～	「寿ぎのきものジャパニーズ・ウェディング～日本の婚礼衣装～」
簪立て 計8点	独立行政法人 日本芸術文化振興会	9/27～2022/2/28	企画展「舞台の花鳥風月―装いの美―」
昭憲皇太后着用大礼服 1件	茨城県立歴史館	2022/2/2～	特別展「華麗なる明治―宮廷文化のエッセンス―」

2) 特別利用

申請者	利用区分	資料利用期間	備考
東京家政大学博物館	画像利用	4/1～6/30	企画展「ふしめの儀式」にてパネル展示のため
ハースト婦人画報社	画像利用	3/25～8/19	『美しいキモノ』夏号に図版掲載のため
そごう美術館	画像利用	1/25～12/31	そごう美術館ウェブサイトにて「ジャパニーズウェディング展」広報のため
茨城県立歴史館	熟覧・撮影	4/21	特別展「華麗なる明治―宮廷文化のエッセンス―」のための事前調査のため
京都光華大学短期大学部 青木正明	熟覧・撮影・その他	5/1	天然染料による染色技術研究における国内でのカイガラムシ使用染織品の色彩調査
株式会社 NHK エデュケーショナル	画像利用	—	株式会社社なる傘下の予備校・塾にて使用する小学生教材に掲載のため
高崎市染料植物園	画像利用	5/7～7/18	企画展「赤の力 Part1 赤は火の色・生命の色～赤い色に願いをこめて～」にてパネル展示
繊維学会	画像利用	4/17～7/10	繊維学会誌7月号連載記事「繊維関連の美術・博物館」への掲載
朝日新聞社文化事業部	画像利用	7/19～12月31日	「ジャパニーズ・ウェディング展」広報目的として、21年度「日本博」プログラム事業紹介パンフレットへの掲載のため
ハースト婦人画報社	画像利用	7/26～11/19	『美しいキモノ』秋号に図版掲載のため
オフィス KAI	画像利用	7/29～9/3	『寿ぎの着物ジャパニーズウェディング』図録掲載のため
Kunstmuseum Den Haag	画像利用	10/9/～2022/1/16	展覧会「Global Wardrobe」の図録掲載のため
共立女子大学大学院 古川咲	画像利用	8/31～2022/3/31	学会論文掲載のため 服飾学研究 vol.4 (2022年3月刊行予定)
オフィス KAI	画像利用	7/29～9/3	『寿ぎの着物ジャパニーズウェディング』図録掲載のため
生活の友社	画像利用	9/21～10/20	月刊誌『美術の窓』11月号にて「ジャパニーズウェディング展」紹介記事に掲載のため
共立女子大学大学院 古川咲	熟覧	10/25	紀要執筆のため
コスモ・ピーアール	画像利用	11/30～	「approach」伊勢型紙特集に掲載のため
九段生涯学習館	画像利用	11/29～2022/2/5	九段生涯学習館 教養講座「更紗の歴史と染付体験～知る・観る・染める～」における広報物への掲載、事業報告関連への使用
茨城県立歴史館	画像利用	2022/1/5～2022/4/10	特別展「華麗なる明治」の広報目的のため
美術映像プロジェクト	画像利用	10/31～11/7	NHK「日曜美術館・アートシーン」にて、そごう美術館で開催中の「ジャパニーズ・ウェディング」展を紹介するため
共立女子大学文芸学部 近藤壮	画像利用	2022/1/6～1/30	当館紀要執筆のため

3) 団体利用

団体名	見学日	人数
博物館実習	2021/4/23	24
基礎ゼミナール_02	2021/4/29	33
基礎ゼミナール_01	2021/4/22	33

4) 博物館実習

実習人数 38名（家政学部：13名・文芸学部：18名・国際学部：7名）

実習日程 5日間（このうち1日のみ提出課題で対応）

神田一ツ橋キャンパス 3日間

八王子キャンパス 1日間

実施期間 5月～10月

G1：5/11～14 G2：5/18～21 G3：5/25～28 G4：6/8～11 G5：6/15～18 G6：6/22～25
G7：9/7～10 G8：9/28,29,10/21,22 G9：10/5～8 G10：10/26～29

実習内容一例

第一日目	午前	オリエンテーション・施設・設備についての実習 館の概要説明 施設・設備の見学と課題の検討 (利用者動線、バックヤード、空調、セキュリティなど)
	午後	管理業務に関する実習① 博物館資料の情報管理について（作品管理システムについて）
第二日目 (八王子)	午前	管理業務に関する実習② 博物館資料の取り扱い実習
	午後	管理業務に関する実習③ 博物館資料の取り扱い実習
第三日目	午前	管理業務に関する実習④ 広報について、教育普及活動について（教育普及プログラムの検討）
	午後	展示業務に関する実習① ギャラリートーク演習（発表準備）
第四日目	午前	管理業務に関する実習⑤ 環境管理・文化財防災について
	午後	展示業務に関する実習② ギャラリートーク演習（発表）
第五日目	提出課題	共立女子大学博物館で開催する展覧会の企画案を制作する。

3. 資料管理

1) 環境調査

調査対象：神田一ツ橋キャンパス 2 号館博物館

八王子キャンパス 10 号館保管庫

調査期間：前期) 5 月 12 日 (水) ～ 6 月 18 日 (金) 38 日間

後期) 9 月 29 日 (水) ～ 11 月 4 日 (木) 36 日間

調査内容：浮遊菌・付着菌・浮遊塵埃調査

歩行性・飛翔性用バグトラップ設置及び調査

調査業者：東化研株式会社

4. 運営・組織

1) 博物館規程類

共立女子大学博物館規程

(趣旨)

第 1 条 この規程は、共立女子大学学則第 55 条により設置された共立女子大学学則第 55 条により設置された共立女子大学博物館（以下「博物館」という。）に関する基本事項を定める。

(目的)

第 2 条 博物館は、本学における教育研究等の使命を達成するため、必要な学術資料および関連資料（以下「資料」という。）の収集、管理、展示等を行い、教職員、学生およびその他一般の利用に供することを目的とする。

(事業)

第 3 条 博物館は、その目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 資料の収集、管理および調査研究
- (2) 展覧会、講演会等の開催
- (3) 学内外の教育研究および利用に関する支援
- (4) 出版広報活動
- (5) その他博物館の目的達成のために必要な事業

(館長)

第 4 条 博物館に館長を置く。

- 2 館長は、教授のうちから学長が推薦し、理事長が任命する。

3 館長は、館務を掌理する。

4 館長の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、任期中に退任した場合の後任者の任期は、その残任期間とする。

(運営委員会)

第 5 条 博物館運営の基本事項に関して館長の諮問に応じるため、博物館運営委員会を置く。

2 博物館運営委員会の規程は、別に定める。

(職員)

第 6 条 博物館に職員を置く。

2 職員のうち 1 名は、学芸員資格とそれに基づく実務経験を有する者とする。

3 職員について必要な事項は、共立女子学園事務局事務規程をもって別に定める。

(雑則)

第 7 条 この規程に定めるもののほか、博物館の運営に必要な事項については別に定める。

(改廃)

第 8 条 この規程の改廃は、館長の提議により理事会の承認を得るものとする。

付則

この規程は、2020 年 4 月 1 より施行し、従前の「共立女子大学博物館規程」は、2020 年 3 月 31 日をもって廃止する。

共立女子大学博物館運営委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、共立女子大学博物館規程の第5条第2項に基づき、共立女子大学博物館運営委員会（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(組織)

第2条 委員会は、次の運営委員（以下「委員」という。）をもって組織する。

- (1) 館長
- (2) 学部・科より推薦された専任の教員 各1名
- (3) 館長が必要に応じて推薦した専任の教員 2名以内
- (4) 教育学術推進課長

2 委員は、学長が任命する。

(任期)

第3条 委員の任期は、2年とし再任を妨げない。ただし、委員の欠員により補充された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、館長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、議長となる。

3 委員長は、必要に応じ、委員以外の者に会議への出席を求めることができる。

(会議)

第5条 委員会は、原則として年2回以上開催するものとする。

2 委員会は、委員の過半数の出席により成立する。

(議事の報告)

第6条 委員長は、協議された事項について学長に報告する。

(事務)

第7条 委員会の事務は、教育学術推進課が行う。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、館長の提議により、常務理事会の承認を得るものとする。

附則

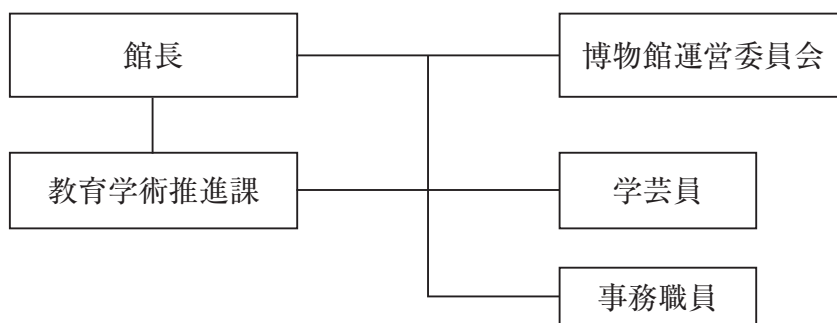
この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附則

この規程は、2020(令和2)年9月1日から施行する。

2) 組織・委員会

【組織図】



【博物館運営委員会】（任期2年：2020年4月1日～2022年3月31日）

（※ 2021年4月1日～2022年3月31日（前任者の残任期間））

委 員

委員長	博物館長	長崎 巖
委員	家政学部	田中 淑江
委員	文芸学部	池上 公平
委員	国際学部	橋川 俊樹 ※
委員	看護学部	山住 康恵
委員	ビジネス学部	飯島 聡太郎
委員	生活科学科	山口 庸子
委員	文科	咲本 英恵 ※
委員	図書課	田中 俊介

活動記録

- 第1回 開催日：7月14日（水）
第2回 開催日：2022年3月8日（火）

3) 施設概要

神田一ツ橋キャンパス

展示室	79㎡
収蔵庫（前室を含む）	71㎡
事務室	43㎡

八王子キャンパス

保管室（第一・第二）	190㎡
------------	------

4) 利用案内

開館時間：月～金曜日 10：00～17：00、土曜日：10：00～13：00

休館日：日曜日・国民の祝日、大学が定める休日、展示入替期間

入館料：無料（2号館1F受付でお申し込みください。）

アクセス：東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」駅A8出口徒歩1分

東京メトロ東西線「竹橋」駅下車1b出口徒歩3分

※駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。

所在地：〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-1 共立女子学園2号館B1F

問合せ先：Tel：03-3237-2665

Fax：03-3237-2633

mail：muse.gr@kyoritsu-wu.ac.jp

ウェブサイト <http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/muse/>

